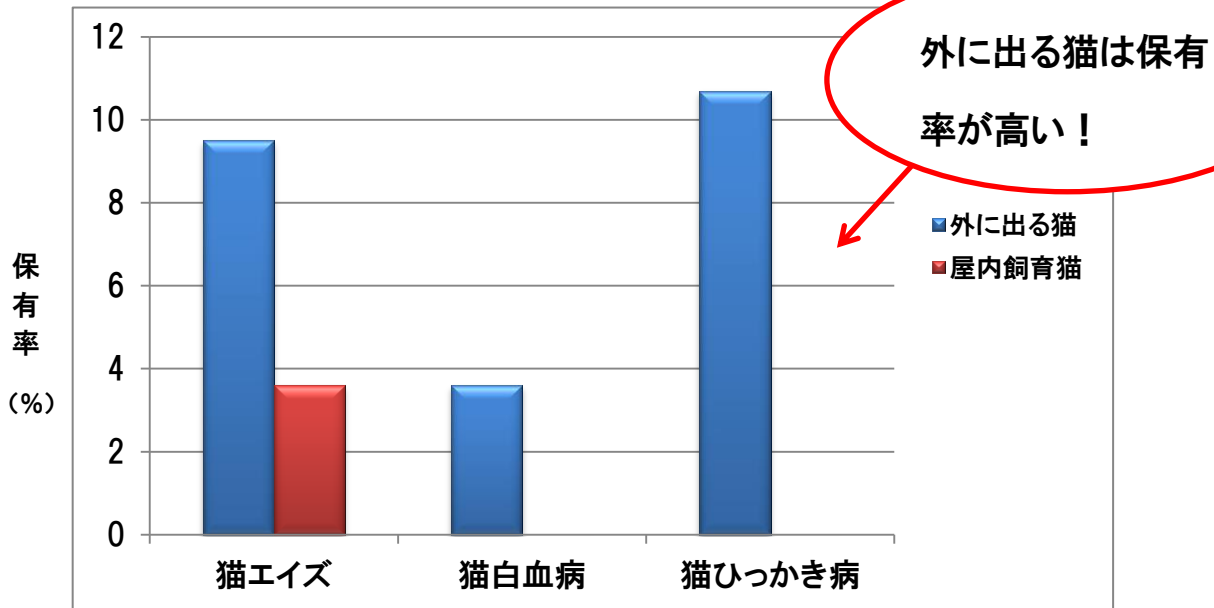


## 外には危険がいっぱい！ 猫は完全室内飼育しましょう！



屋外で暮らす猫は、屋内で暮らす猫に比べて寿命が短いと言われ、その原因の一つとして、感染症への感染が挙げられます。

主な猫感染症には、猫後天性免疫不全症候群（いわゆる猫エイズ）、猫白血病や猫ひっかき病などがあります。



猫エイズは、屋外で暮らす猫だけでなく、室内で暮らす猫からも病原体の遺伝子が検出されましたが、これは屋外で交尾やケンカによって感染するケースと猫エイズに感染している母猫の胎盤を経由して感染するケースの2つの感染ルートがあり、子猫の時にはすでに感染していたことが推察されます。

猫白血病と猫ひっかき病は、完全に屋内で暮らす猫からは、病原体の遺伝子は検出されず、屋外に出る機会のある猫に病原体の遺伝子の保有率が高い傾向にありました。

### Q.猫の感染症は人にも感染する？

猫ひっかき病は、その名の通り、その病原体を保有している猫にひっかかれることなどによって人にも感染します。最初は虫さされに似た病変ですが、その後、水膨れのようになりリンパ節が腫れます。猫は、この病原体を保有していても、特に目立った症状はありません。猫やその他の動物に触ったら、必ず手を洗うようにしましょう。

### Q.ずっと家の中にいると、猫にとってストレスにならない？

猫は、家の中でも上下運動すれば十分な運動になります。広さよりも、上下運動できるキャットタワー等を準備してあげることが大切です。猫にとっての自由な世界は、安全な家の中にあるのです。

### Q.感染症の他に、屋外での危険とは何があるの？

- 1 交通事故：車と衝突したり、車の隙間に入り込む危険性があります。
- 2 迷子：猫は大きな音が苦手です。予期せぬ事態でパニックになったり、怪我などで動けなくなることもあります。
- 3 ケンカ：縄張り争いやメスをめぐる争いをすることがあります。
- 4 予期せぬ繁殖：望まれない子猫が生まれることがあります。